

2 安全に使用するための注意事項

■必ずご使用の前にこの『安全に使用するための注意事項』をよくお読みいただき、正しくお使いください。

■ここに示した注意事項は

製品を安全にお使いいただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。また、注意事項は、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を、危害や損害の大きさと切迫の程度に応じて「警告」と「注意」の二つに区分けしています。**いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。**

絵表示についての詳しい説明は下記のとおりです。内容をよく理解してから本文をお読みください。

警告 (けい こく) ・この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、生命にかかわるけがを負う可能性が想定される内容を示しています。

注意 (ちゅう い) ・この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人がけがを負う可能性及び物的損害の発生が想定される内容を示しています。

〔絵表示の例〕



感電注意



記号は、警告・注意を促す内容があることを告げるものです。図の中に具体的な注意内容（左図の場合は「感電注意」）が描かれています。



分解禁止



記号は、禁止の行為であることを告げるものです。図の中や周りに具体的な禁止内容（左図の場合は「分解禁止」）が描かれています。



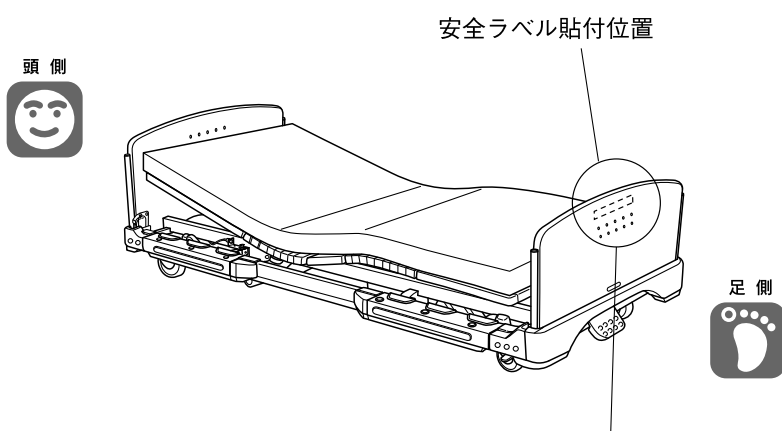
プラグを抜く



記号は、行為を強要したり指示したりする内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容（左図の場合は「電源プラグを抜く」）が描かれています。

※取扱説明書をお読みになった後は、いつでも見られるところに必ず保管してください。

〔安全ラベルについて〕



●注意事項の中で、ベッドをお使いになる方に特に注意していただきたい項目をラベルにしてフットボードの内側に貼ってあります。はがしたり傷つけたりしないでください。

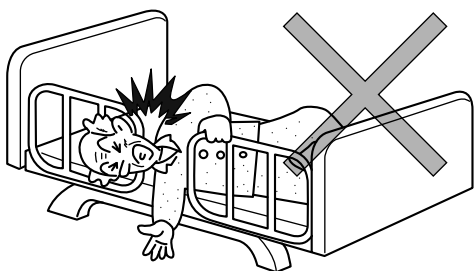
●安全ラベルが傷ついたり、はがれてしまった場合には販売店から新しい安全ラベルを取り寄せ、貼り直してください。

警告 (けい こく) 生命にかかわるけがの恐れあり	サイドレールのすき間に頭や首が入らないよう注意してください。すき間に入ると抜けなくなり、けがをすることがあります。	頭・腕や足をサイドレールから出したまま背上げ・膝上げ操作をしないでください。はさまれるとけがをすることがあります。	ベッドの下にもぐり込んだりベッド内に頭・腕や足を入れないでください。可動部ではさまれるとけがをすることがあります。	注意 (ちゅう い) 最低たかさ付近でベッド搬送をしないでください。ベッド部品でゆかを傷つける恐れがあります。必ず5cm以上たかさを上げてから搬送してください。
---	--	--	--	--

パラマウントベッド株式会社 3K01239100A0

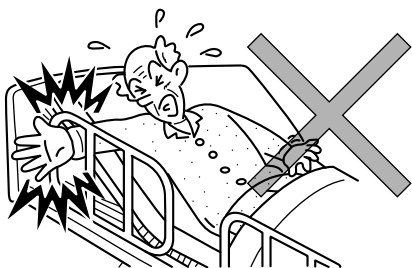
けい こく 警告

■サイドレールのすき間に注意



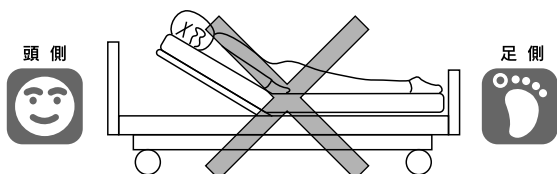
- サイドレールのすき間に頭や首が入らないよう注意してください。すき間に入ると抜けなくなり、けがをする恐れがあります。

■腕ばさみに注意してください



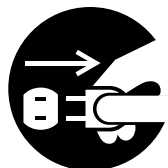
- 頭・腕や足をベッドサイドレール（28ページ参照）の外に出したまま、背や膝の上げ下げを行わないでください。はさまれてけがをする恐れがあります。

■うつ伏せで背上げをしないでください



- うつ伏せに寝た状態での背上げは関節を逆に曲げることになり、けがをする恐れがあります。絶対に行わないでください。

■誤操作を防止するためプラグを抜いてください



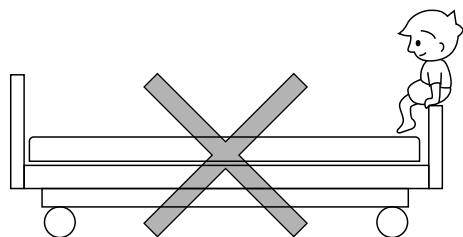
プラグを抜く

- 幼児や操作が理解できないと思われる方（痴呆症の方など）が一人で手元スイッチに触れる可能性がある場合には、電源プラグをその都度抜いて誤操作による事故を未然に防いでください。

安全に使用するための注意事項



■ベッドサイドレールやヘッド・フットボードに腰かけたりしないでください

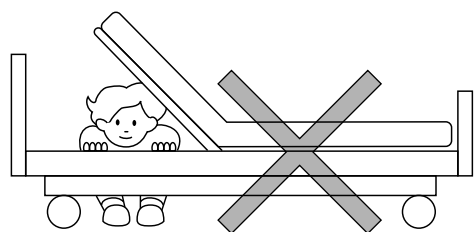


- ベッドサイドレールやヘッド・フットボードには腰かけたり、ぶらさがったりしないでください。変形、故障やけがの原因になります。

■電動操作中は手や足を入れないでください

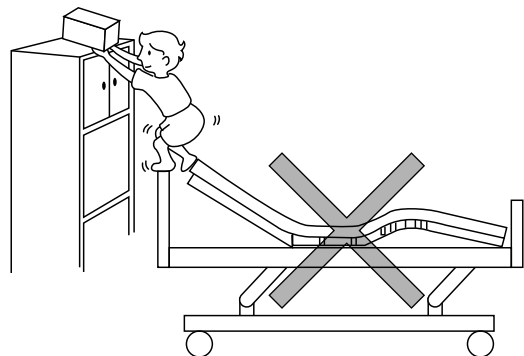
- 電動操作中は、メインフレーム、背ボトムの下に手や足を入れないでください。下がってきたメインフレーム、背ボトムで手や足をはさんだり、モーターの回転部分でけがをする恐れがあります。

■ベッド内にもぐり込まないでください



- ベッドの下にもぐり込んだり、ベッド内に頭・腕や足などを入れないでください。ベッドの可動部分（ボトムなど）とフレームやベッドサイドレールとの間に頭・腕や足をはさんでけがをする恐れがあります。
- ベッドポジション操作時は、ベッドの下やうしろに障害物がないことを確認のうえ、操作してください。

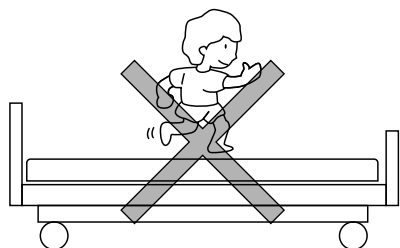
■踏み台がわりにしないでください



- 踏み台がわりにベッドの上に立ったり、足をかけて立ち上がったりしないでください。ベッドから落下、転倒してけがをする恐れがあります。

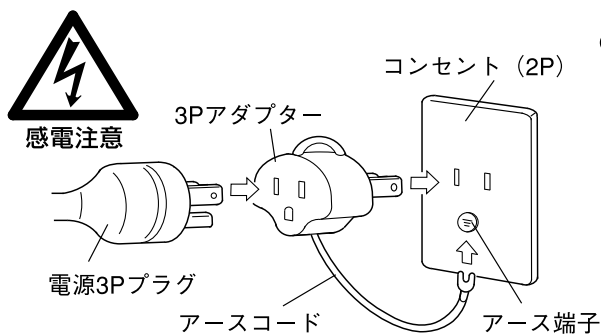
けい こく 警告

■ベッドの上で飛び跳ねないでください



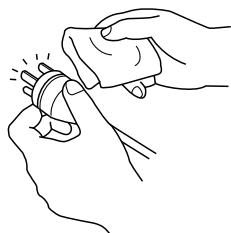
- ベッドの上で飛び跳ねないでください。特にお子様にはご注意ください。故障やけがの原因となります。

■3Pアダプター使用時はアースを確実につけてください



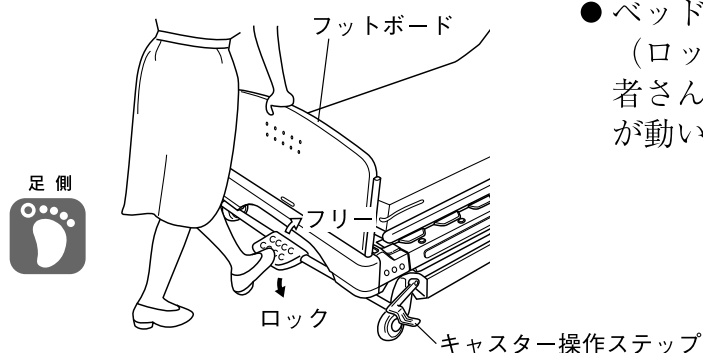
- このベッドを使用する部屋のコンセントが一般のコンセント (2P) の場合は、3Pアダプターを使用してください。この場合は、必ずアダプターについているアースコードの先端をコンセントのアース端子に確実に接続してください。事故や漏電のとき、感電する恐れがあります。

■電源コードのプラグは定期的に点検してください



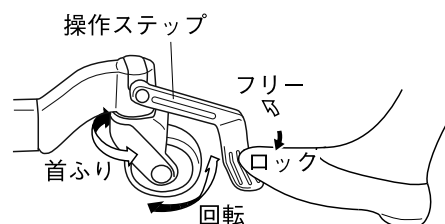
- 電源プラグを半年に一回コンセントから抜いて乾いた布で刃及びその取り付け面を拭いてください。電源プラグにホコリが付着していたりコンセントにしっかり差し込まれていないと感電や火災の原因になります。

■ブレーキは必ずかけてください



[セントラルロックタイプの場合]

- ベッドを移動するとき以外は、必ずブレーキ（ロック）をかけてください。かけないと患者さんがベッドに乗り降りする際に、ベッドが動いて思わぬけがをすることがあります。

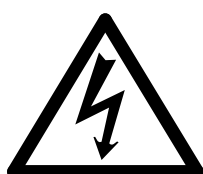


[対角ストッパータイプの場合]

安全に使用するための注意事項



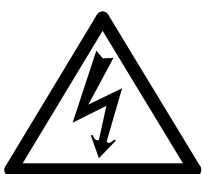
■抜くときにはプラグを持ってください



感電注意

- 電源プラグを抜くときには、電源コードを持たずに必ず先端の電源プラグを持って引き抜いてください。
ショートして感電する恐れがあります。

■プラグを濡れた手で抜き差ししないでください



感電注意

- 電源プラグを濡れた手で抜き差ししないでください。ショートして感電する恐れがあります。

■改造はしないでください



分解禁止

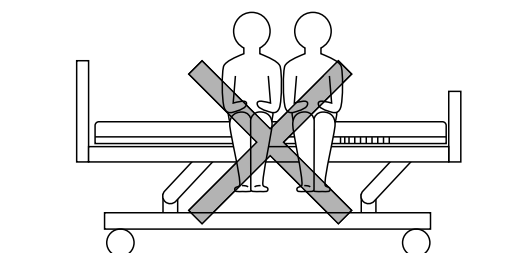
- 手元スイッチやコントロールボックスなどを分解したり、修理・改造することは絶対に行わないでください。異常動作して、けがをする恐れがあります。

■症状にあわせて使用してください

- 患者さんあるいはご家族の方が直接ベッドを操作される場合は、医師や介護する方から症状にあった使用方法について十分に説明をうけたうえで、ご使用ください。症状によっては、ベッドの操作が症状を悪化させる場合があります。

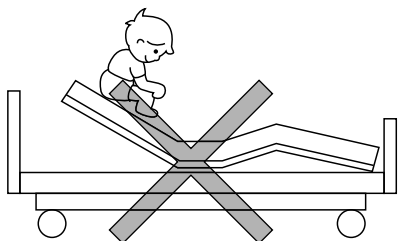
注意

■1人用の設計です



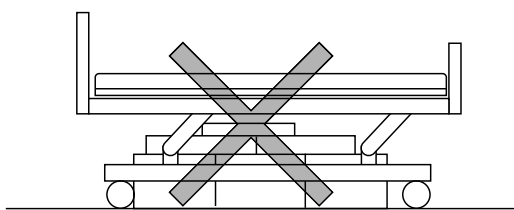
- このベッドは一人用の設計になっています。二人以上ではご使用になれません。また、ウォーターマットレスのご使用はベッドの変形、破損の原因となりますので使用しないでください。

■上がっているボトムに乗らないでください



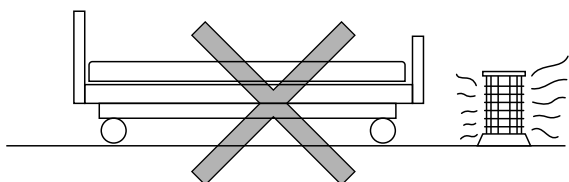
- 上がっている背ボトムや膝ボトムの上に腰掛けしないでください。ボトムの支持部に大きな力がかかり、支持部やボトムの変形、破損の原因となります。

■ベッドの下に物を置かないでください



- ベッドの高さ調節ができなくなります。また、下に置いたものをこわしたり、ベッドを変形させる恐れがあります。

■火気に近づけないでください

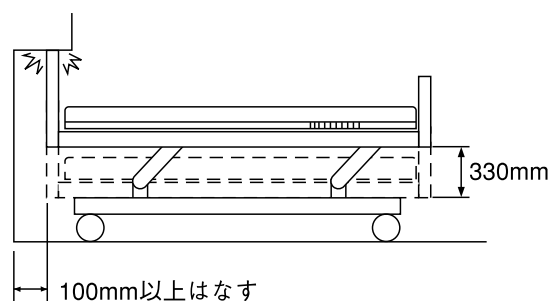


- ベッドの近くでの、ストーブなど熱器具のご使用は、さけてください。変質、変形、発火等の原因となる場合があります。

安全に使用するための注意事項

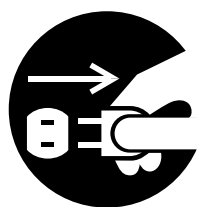
注意

■高さ調節のとき、壁や梁^{はり}に気をつけてください



- ベッドは高さ調節操作で、上下に約330mm、前後に約60mm動きます。ご使用の際には、この高さ調節でベッドが壁や梁にあたらないことをご確認ください。特に壁からは必ず100mm以上はなしてから、キャスターのストッパーをかけてください。

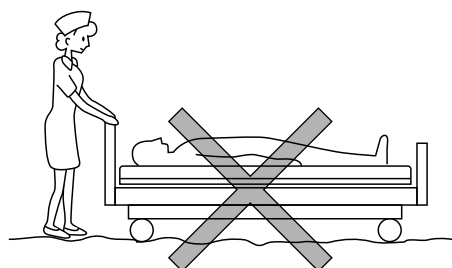
■お手入れはプラグを抜いてからしてください



プラグを抜く

- お手入れの際は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

■でこぼこ路面での移動はさけてください



- ベッド移動のとき、路面上の大きな段差や凹凸の激しい道および廊下での移動は、できるだけ行わないでください。故障の原因となる場合があります。
- もし上記のような場所で移動される場合は、ベッドをできるだけゆっくり動かしてください。

■最低たかさ付近でのベッド搬送はしないでください

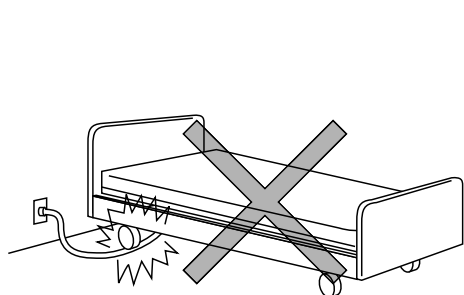
- 最低たかさ付近でのベッドの搬送はしないでください。ベッドの部品でゆかを傷つけることがあります。
- ベッドを移動させる際には、必ず5cm以上たかさを上げてから行うよう、十分ご注意ください。

注意

■湿気の多いところで使用しないでください

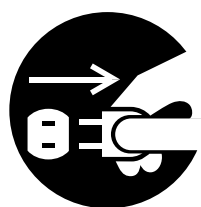
- ベッドを湿気の多いところで使用したり保管しないでください。電気部品に水が侵入した場合に安全回路が働いて動かなくなることがあります。

■電源コード類をはさまないでください



- コード類がキャスターやその他重い物にはさまれないよう、十分にご注意ください。
- セントラルロック仕様のベッドの場合、キャスターロック時に、ベッドの部品で電源コードがはさまれる恐れがあります。
- 特に電源コードがいたみますと焼損や漏電の可能性があり、火災や感電する恐れがあります。

■長時間使わないときはプラグを抜いてください



プラグを抜く

- 長時間ご使用にならないときは、必ず、電源プラグをコンセントから抜いてください。

■コンセントの位置に注意してベッドを配置してください

- コンセントの位置は、最低たかさでのヘッドボードの欠きの部分、またはヘッドボードで隠れない位置にしてください。たかさ調節のとき、プラグがベッドに押し潰されて、破損する場合があります。

安全に使用するための注意事項

注意

■水などをこぼさないでください



- モーターや手元スイッチに、水やジュース、味噌汁などをこぼさないでください、安全回路が働いて動かなくなる場合があります。誤ってこぼしてしまった場合には、必ず電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。

■手元スイッチを傷つけないでください



- 手元スイッチを落としたり、手元スイッチコードを強く引っ張ったり、はさんだりしないでください。断線して動かなくなる可能性があります。

■他社製品とは組み合わせないでください

- ベッドに直接とりつけて使用するベッドサイドレール、介助バー、マットレスは必ず弊社の適合品をお使いください。他社製品と組み合わせるとベッドに負担をかけ、故障やけがの原因となることがあります。

■被災したベッドは点検・修理をしてください

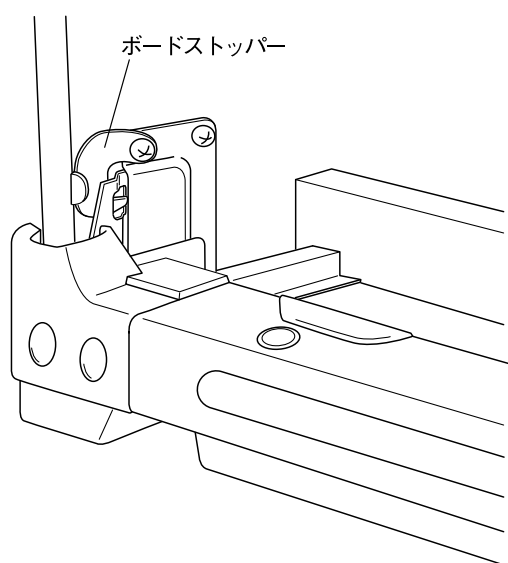
- 地震・火事・水害等で被災したベッドはお買い上げの販売店に点検修理をご依頼ください。
電装品のショートや漏電による感電・火災やベッドの変形による動作の異常によってけがをする恐れがあります。

注意

■故障、破損したら使わないでください

- ご使用中、万一故障・破損した場合はすぐに使用を中止し、販売店または弊社まで修理をご依頼ください。

■ボードストッパーは必ずかけてください



- ボードストッパーは必ずかけてご使用ください。ベッド移動でボードを押す（引く）ときや体を支えるためボードにつかまったとき、はずれると転倒してけがの恐れがあります。

■電子治療器を使用するときは必ず電源プラグを抜いてください

- 電子治療器（マイクロ波治療器、超短波治療器、高周波電位治療器等）をご使用になる場合は必ず電源プラグを抜いてください。同時に使用した場合、誤動作や故障の原因になります。